

## 第 10 回泉地域審議会発言要旨

委 員	事 務 局
東陽・泉学校給食センターの統合について（報告）	
	<p>教育委員会健康教育課からの資料を基に泉学校給食センターを廃止し東陽学校給食センターに統合するに至った経緯と該当する小中学校のPTA等に対する説明会の開催状況を説明する。</p> <p>本年度7月～8月の夏休み期間を利用して東陽学校給食センターの改修を行い、平成21年4月から運用を開始することを報告する。</p>
<p>保護者に対する事前説明の機会を設けずに、予算等が確定した新年度にはじめて知らされたもので、当然、憤りもあり、中学校ではPTA役員と保護者全員への2回の説明会の中で批判が相ついだ。</p> <p>確定事項を説明してもらっても肝心の意見が反映されることも無く、今回の教育委員会の対応は間違っている。</p> <p>（委員の大半が初めて聞くことであり、事前説明会を実施しなかった教育委員会への厳しい批判が多く委員から出された）</p> <p>こういった問題が起こるのも、支所に教育委員会の窓口が無いことが原因と思われるので、今後支所業務のひとつに教育関係の部門を設けるべきである。</p> <p>住民自治を推進する立場の行政がこのような姿勢では逆行することになりはしないか。</p>	<p>このような事業説明について地元への対応の事例を市教委へお尋ねしてみました。</p> <p>市教委の姿勢として、学校の建設等の大規模の事業につきましては、校区全体に対し事前説明会を実施しておりましたが、体育館の建設や施設の一部改修等の件につきましては関係者のみへの説明で対応しているとお聞きしております。</p> <p>従って今回は、施設の一部改修事例を引用されたもののようです。</p> <p>本日の皆様の意見は、後日ホームページへ掲載広報されますし、教育委員会へは支所から報告します。</p>

委 員	事 務 局
山間地域の振興施策（過疎対策）について	
過疎債の内容について質問します。	<p>過疎地域の事業を支援する起債で、充当率や償還に対する手厚い交付税措置など他の起債に比べ非常に有利なものです。</p> <p>合併後の現在、旧泉、東陽、坂本地区に適用されますが、現時点では平成21年度までの利用の見込みです。</p>
<p>五家荘の各地区に整備した施設について、老朽化が激しいので今後そうした起債を利用して集中的に改修が出来ないか。</p> <p>市の姿勢を見るに五家荘観光について、熱意が感じられず、このまま衰退していくのではと、地区に生きる者として心配している。</p>	<p>起債の適用については確認が必要ですが、施設について支所で調査した結果、現在10施設で改修を必要としていますので、急ぐものについて9月補正で予算要求をしており、これから具体的に進めていきます。</p>
<p>「平家の里」の入場者数が年々減少していることについて、施設事体に魅力がなくなってきている。伝説館に至ってはその展示物が更新されていないので、リピーターの確保に繋げるような施策が必要と思うが。</p>	
<p>現在、大学と自治体が連携した地域振興への取り組みが多く見受けられます。泉でもこうした取り組みができないだろうか。</p>	
<p>各施設について、変り栄えせず1～2回行けば次はということが多いようです。何かインパクトのあるもの、たとえば芝桜が一面に映える公園を整備して誘導するなどの方策を考えていけば良いのでは。</p>	
<p>それに関連し、氷川ダムとか上流の白岩戸の親水公園に多くの人が詰め掛けている。</p>	
<p>五家荘に整備されている施設の間が遠く点として広がり過ぎている様に思います。集合施設としてまとめるなど方策は考えられないか。</p>	

委 員	事 務 局
<p>製品の活用をもっと促進すべきと思います。現在 J A で地域のゼンマイ、干しタケノコなどを扱っていますが、大変好評を得ています。泉らしさ、五家荘らしさをもっと前面にと思います・</p>	
<p>農業について、現在、山間地域における耕作放棄地の問題、茶の衰退の問題、高齢化による後継者不足の問題などが山積し非常に厳しいものがあります。こうした中で、直売に関わる人たちの元気が目につきます。特に泉地区の産品は消費者に喜ばれ、品薄状態であり、特に施設整備の必要もなく、休耕地の有効活用に繋がられないかと思えます。地区で共同出荷体制が確立できれば、高齢者の参加が増えると確信します。</p>	<p>直販所の運営に関し、J A、販売所から泉地区の農産物の出荷を促すように要望が成されていますので、今後、東陽地区との協力も含めて推進していきたいと考えます。</p>
<p>泉地区の人口について、10年間で500人ほどの減少になっています。合併後歯止めがかかるかと期待しましたが、現状は厳しいものがあります。一つの要因に若年層の流出があり、県下第2の市でありながら地元で働く場所がないということだと思います。</p> <p>そこで、雇用の場を確保するために企業誘致の推進が重要な問題であると思います。</p>	<p>本庁部署に企業誘致課があり、内陸型、港湾型の工業団地への進出を有力企業に対して強力に要請していますが非常に厳しい状況下です。</p>
<p>新聞報道によれば熊本県は企業進出の要件整備が全国2位とのこと。蒲島知事も県に企業100社を誘致すると頑張っておられますが県北が進出拠点で南部である八代への進出が低調です。</p> <p>有利な環境を最大限に活用して積極的な誘致活動を実施してほしいものです。</p>	<p>支所としてこれ以上の具体的な情報を持っていませんので、企業誘致課に確認をとり、取り組み概要等を次回に報告したいと思います。</p>
<p>施設の入場者数の減少に関して、現在、泉分校の生徒たちが普段の授業の中で作成するネイチャークラフトなど素晴らしい作品を作ってい</p>	

委 員	事 務 局
<p>ます。各施設で生徒たちを活用してクラフト教室の開催や作品の展示会など開催したら集客に繋がると思います。</p> <p>施設と観光地をつなぐ周遊コースの設定とコース走覇者への記念品の提供といったことや、きれいで温かみのある手づくりマップの作成、そして、現在見にくい道路標識の整備が必要と思います。</p>	
<p>先ほど、大学との連携ということを申し上げましたが、泉には泉分校という身近な学校があります。これを活用しない手はないと思います。学校との連携、生徒の活用、保護者の取り込みと広がり期待できます。</p>	
<p>茶について、農業法人「ミタカ」の泉地区から撤退に伴い、来年度において、個人製造業者への負担増が見込まれ、委託を断る場合があります、3～4haの大幅な耕作放棄地が発生すると思われます。農業法人の組織化が有効と考えますが、後継者の不足が大きなネックになっています。具体的な対策を望みます。</p> <p>林業に関し、森林組合の合併で状況が良くなると思っていましたが、逆に悪化しており、作業条件が従事者にとって厳しくなり作業班の解体となって現れています、今後、伐木搬出といった時期に至った場合、従事者の確保ができるか心配です。組合への指導なりができないでしょうか。</p>	<p>茶に関しては、現在耕作地が100ha程に減少しています。今後支所としても何が出来るか十分に検討を重ね、生産者と一体となって有効な施策の展開を目指したいと考えます。</p> <p>森林組合について、作業委託に伴う労災や雇用保険がこれまで組合が負担していましたが、委託業者の負担となったため作業班の一部で廃業されたところもあります。森林組合に対する指導については、熊本県と熊本県森林組合連合会でないと出来ない状況です。</p> <p>支所としても、県の関係課から状況を把握して指導できることについては実施していきます。</p>
<p>現在、法泉寺の前の石橋が地元の方々の手できれいに掃除されその威容を見せています。境内に梅の花が、庫裏の裏手にしだれ桜が季節に咲き誇りそれを目当てに訪れる方が増えています。花の時期に石橋を渡り、花を愛でながら精進料理を味わうとの名目で全国から5組の</p>	

委 員	事 務 局
<p>方を迎え入れました。来年も是非実施したいと思いますが「自然の恵み」というこのような小さな観点から色々な方策に繋がたらどうでしょうか。</p>	
<p>観光振興、地域振興といった場合に基本となるのはやはり道路の整備だと思います。五家荘の振興には国道445号の二車線化が急務であると考えます。国・県に対して強く要請するために観光協会や各種団体が連携して取り組むための組織が必要と考えます。</p>	<p>現在、葉木周辺の国道445号については、5ヵ年計画に基づいた整備が進められています。</p>
<p>現在、農業に関し、泉地区を代表して参加することが多いのですが、各種会合で、話題なり議題となるのが平坦部における、トマト、イ草といったものばかりです。山間地の産物へも目を向けるべきと考えます。</p> <p>他の産地の例に倣い、泉ならではの作物の振興や高齢者でも取り組めるようなものを模索していく必要があると考えます。</p>	
<p>本日の審議会は大変有意義な会議であったと思います。今日の内容を基に、点で広がる地区を線で結び、面として広げていくことを目指して、それぞれの立場で頑張ってもらいたいと思います。</p> <p>支所の更なる努力を期待します。</p> <p>以上で本日の会議を終了します。</p>	

その他	
<p>特になし</p>	